

江戸川学園おおたかの森専門学校

学校関係者評価委員会議事録

(平成 29 年度)

平成 31 年 1 月

学校法人江戸川学園

江戸川学園おおたかの森専門学校

1. 学校関係者評価委員会開催概要

開催日時	平成 31 年 1 月 26 日(土) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分	
開催場所	江戸川学園おおたかの森専門学校 F102 会議室	
参加者(敬称略)	江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長 駒木自治会会長 社会福祉法人修央会 船橋笑寿会 相談室長 学校法人江戸川学園江戸川大学教授	川崎 一也 渡邊 治 平尾 悟 神田 洋
欠席者(敬称略)	江戸川学園おおたかの森専門学校同窓会会長	皆川 博行
学校側参加者(オブザーバー)	江戸川学園おおたかの森専門学校 校長 " 副校長 " 副校長 " 学生部長	広岡 勲 原 頼信 城田 和明 奥山 武浩

2. 議事内容

学校関係者評価委員会の趣旨及び議事進行について	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川学園おおたかの森専門学校学生部長(以下 学生部長)より議事内容・進行について説明があった。 本委員会開催に関し、「学校評価に関する関連法令」及び本委員会の開催主旨、評価結果の開示状況などについて説明がなされた。 議題は以下の 2 つになる。 <ol style="list-style-type: none"> 平成 29 年度・平成 30 年度の事業計画及び進捗について 平成 29 年度自己評価結果の説明および審議 議事内容・進行については、「学校自己評価報告書(平成 29 年度)」(各評価項目)に基づいて審議し、評価を行うこととした。
委員会の成立及び議長選出	<ul style="list-style-type: none"> 本日の参加者及び欠席者を確認(委員 5 名のうち 4 名出席)し、定足数(委員の過半数)に達していることを確認。 委員の互選により平尾悟氏を議長(委員長)として選出。

(1)平成 29 年度・平成 30 年度の事業計画及び進捗について

<ul style="list-style-type: none"> 江戸川学園おおたかの森専門学校校長(以下 校長)および江戸川学園おおたかの森専門学校副校長 原頼信(以下 原副校長)より平成 29 年度・平成 30 年度の事業計画及び進捗について説明があった。 <ol style="list-style-type: none"> ①学校ブランディングの引き直し 校名変更、のんさんを広告塔として採用。学生募集状況は下降から横ばいになった。 ②留学生受入れ 昨年 9 月の介護ビザ発行以来増加している留学生を本校でも受け入れることとした。昨年 4 月から 4 名入学している。来年度は約 30 名が入学し日本人 30 名と外国人 30 名の 2 クラスとなる予定。 ③スポーツトレーナー学科立ち上げ 福祉施設でも活躍できるスポーツトレーナーを想定している。 ④心理・精神保健福祉学科と社会福祉学科の統合 効率の良い経営の観点から 2 学科を統合して心理・社会福祉学科とする。 ⑤学生募集状況について 昨年は入学者 145 名だった。本年度 150 名程度の予定。留学生のメンタル面をフォローするためにカウンセラーを手配。広報活動においても無駄な広報費をカットして財政面でも改善を心掛けている。
--

(2)平成 29 年度自己評価結果の説明および審議

1. 学校の教育目標

2. 本年度中に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

	<p>・議長(委員長)より「学校自己評価報告書」内容(目次・各評価項目等)の説明が求められ、学生部長よりまず「1. 学校の教育目標」、「2. 本年度中に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」についての説明と共に、平成 29 年度から学生募集に関してはネット広告の拡充、教育では介護支援ロボットの導入等、従来よりも斬新なアプローチを採用していると報告がなされた。</p>
--	--

3. 評価項目の達成及び取組み状況

<p>(1)教育理念・目標</p>	<p>・議長(委員長)より、(1)の項目についての説明が求められた。</p> <p>・学生部長より(1)の項目についておおむね達成できているが、将来構想に関してはまだ準備段階のものがあると説明がなされた。</p> <p>・江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長の川崎一也氏より評価項目「各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対する業界のニーズに向けて方向づけられているか」の達成状況にある「福祉施設、保育所等の職員としての必要十分な業務能力を養成することを教育目標としている」とあるのは必修科目のことかと質問があった。</p> <p>・学生部長より実習は必修科目で重点科目となり、長期休業中に 2 週間～1 ヶ月ほど実施していると説明があった。</p> <p>・江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長の川崎一也氏より施設実習はボランティアなのかと質問があった。</p> <p>・学生部長より実習は授業の一環になり、アルバイト代等は支給されないと説明があった。</p> <p>・議長(委員長)氏より実習はそのまま就職につながることもあり、即戦力を養える、また実習巡回の先生が施設と学生のマッチングをしてくれるので、大変有効だと思うと発言がなされた。</p> <p>・駒木自治会会長の渡邊治氏より自治会の交流会で学生にボランティアとして手伝ってもらえるのは可能かと質問があった。</p> <p>・学生部長よりボランティアの募集は個別に対応可能と説明があった。</p>
<p>(2)学校運営</p>	<p>・議長(委員長)より、(2)の項目についての説明が求められた。</p> <p>・学生部長より(2)の項目について、おおむね整っているが、評価項目「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」に関しては、より改良できる点が残されていると説明がなされた。</p> <p>・江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長の川崎一也氏より評価項目「業界や地域社会などに対するコンプライアンス体制が整備されているか」に関して、学生にコンプライアンスを遵守させるためにどのような事をしているのかと質問があった。</p> <p>・原副校長より、学生へは SNS への書き込みが本人やレピュテーションリスクを含めた周辺に及ぼす影響について特設授業で事例を交えて教育している。教職員についてはハラスメント防止委員会を設置して勉強会を実施していると説明があった。</p> <p>・校長より、メディアリテラシー教育も学生に必要と考えているが、まだ足りていないとの認識が示された。</p>

<p>(3)教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議長(委員長)より、(3)の項目についての説明が求められた。 ・学生部長より、(3)の項目についての説明がなされた。 ・江戸川学園おおたかの森専門学校副校長 城田和明(以下 城田副校長)より評価項目「キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか」に関して、法令に定められた評価に加えて施設の実習担当者や実習担当教員によって学生の個性に合わせた評価をしていると説明があった。 ・江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長の川崎一也氏より学生が取得しなければいけない単位は昔より多くなっているのかと質問があった。 ・学生部長よりカリキュラムの時間数(1700~2000)が極端に増加することはないが高度化・専門化し、カリキュラム内容だけではなく実施方法についても要請が増えていると説明があった。 ・江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長の川崎一也氏より、全ての要請に対応していくのは大変そうだと発言がなされた。
<p>(4)学修成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議長(委員長)より、(4)の項目についての説明が求められた。 ・学生部長より、(4)の項目について、評価項目「卒業生・在学生の社会的な活動及び評価を把握しているか」に関して、在生に対しては力を入れているが、卒業生に対して組織的に対応できていないと説明がなされた。 ・学校法人江戸川学園江戸川大学教授 神田洋氏より卒業生の現況確認はメールで行っているのかと質問があった。 ・学生部長より、本校よりの通知は主に郵便で行っている。連絡先も住所変更の通知があれば更新するが、組織だつての管理はしていないと説明があった。 ・原副校長より、連絡先の管理は同窓会で行っていたが、委託先が倒産し作業が本校と同窓会に戻っている。卒業生約10,000人の内5~6,000人程度連絡先を把握している、メールアドレスはほとんど把握していないと説明があった。 ・学校法人江戸川学園江戸川大学教授 神田洋氏よりこれからの卒業生を中心に管理すればよいのではないかと。メールやSNSを使用して学校から卒業生への連絡だけでなく、卒業生や勤務する施設からイベントや雇用の連絡が来るようになると望ましいと意見があった。 ・原副校長より、創設40周年イベントまでにそのようなシステムを確立してその後も継続して使用したいと発言がなされた。 ・江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長の川崎一也氏より卒業校からのメールは寄付を募るものが多く届いても見ないことが多い、そこに気を付けて配信する必要があるかもしれないと意見があった。
<p>(5)学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議長(委員長)より、(5)の項目についての説明が求められた。 ・学生部長より、(5)の項目について、おおむね達成できていると説明がなされた。
<p>(6)教育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議長(委員長)より、(6)の項目についての説明が求められた。 ・学生部長より、(6)の項目について、老朽化した施設等の定期的な補修・更新は必要であるが、おおむね達成できていると説明がなされた。 ・江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長の川崎一也氏より評価項目「防災に対する体制は整備されているか」に関して、キャンパスは避難場所として指定されているのかと質問があった。 ・学生部長より、大学のグラウンドは指定されているので、学園の法人本部で防災上の整備をしているが専門学校主体では実施していないと説明がなされた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長の川崎一也氏より「今後の改善方策」に関して、専門学校への補助金は減っているのかと質問があった。 ・原副校長より厚生労働省からの経常費補助金はほとんどなく、「今後の改善方策」に記載された「国、県の補助金政策」とは空調施設の省エネなどで経済産業省から支給される補助金であると説明がなされた。
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・議長(委員長)より、(7)の項目についての説明が求められた。 ・学生部長より、(7)の項目について、おおむね達成できていると説明がなされた。
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・議長(委員長)より、(8)の項目についての説明が求められた。 ・学生部長より、(8)の項目について、学校法人の法人本部が受け持っている分野となり、おおむね達成できていると説明がなされた。 ・原副校長より、学園全体の財務は HP に公表されている。大学は 3 年連続で募集が定員を大幅に超えている。小学校も今年から 6 年生まで埋まり、年間収支が黒字転換している。中学・高校は以前より黒字の収支を続けている。専門学校は 10 年ほど悪化が続いているが、来年度から費用の削減、学科の統廃合、介護福祉学科への留学生受け入れ、新学科増設などをして黒字化を図ると説明がなされた。
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・議長(委員長)より、(9)の項目についての説明が求められた。 ・学生部長より、(9)の項目についての説明と共に、評価項目「自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」に関して、学校の自己評価・学校関係者評価は、これまで実施年度中の評価となってしまうていたが、29 年度評価より年度終了後に実施するように変更したと報告がなされた。
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・議長(委員長)より、(10)の項目についての説明が求められた。 ・学生部長より、(10)の項目についての説明がなされた。 ・城田副校長より、前回の学校関係者評価委員会で学校がボランティア参加状況を把握しておいた方が良いのではないかと提案がなされたことに関して、ボランティアカードを用いて学生のボランティア活動状況を把握する試みをしていると報告がなされた。 ・校長より毎年流山市主催の「流山ロードレース」にボランティアとして 50 名程参加するなど、流山市等行政機関と連携した活動を実施していると報告がなされた。 ・議長(委員長)より、職業訓練や福祉講座の募集に関して卒業生へのアナウンスなどができれば参加人数が増えるのではないかと意見があった。
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・議長(委員長)より、(11)の項目についての説明が求められた。 ・学生部長より、(11)の項目についての説明がなされると共に、平成29年度より留学生の受け入れを開始したことから留学生への対応・体制に関して各項目を評価したが、特に教育体制に関してはまだ留学生が少人数のために整っていない部分があり、これから拡充の必要があると報告がなされた。 ・原副校長より本校では近隣の施設がバックアップする留学生をお預かりして、施設・学校・本人が三位一体となり卒業後は介護福祉士として施設で働けるように教育していきたいと報告がなされた。 ・校長から来年度は様々な国から 30 人程度の留学生が入学する。地域のコミュニティーと国際的な交流をさせていただきたいと提案がなされた。 ・駒木自治会会長の渡邊治氏より、自治会館の老人会だけではなく子供会にもぜひ参加してほしいと発言がなされた。

総括	<ul style="list-style-type: none">・議長(委員長)より、すべての項目について審議(評価)は終了したが全体を通して何か意見・質問等があるか確認がなされた。・江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長の川崎一也氏より「江戸川学園おおたかの森専門学校 学校評価規程」第11条(学校関係者評価委員会の委嘱)の(委員候補者)に「高等学校関係者」とあるが、不参加なのかと質問があった。・学生部長より今回は委員が選定できなかったが次回に向けて選定したいと説明がなされた。
----	--